



平成 27 年 4 月 23 日

各 位

会 社 名 **日清紡ホールディングス株式会社**
 (コード番号 3105 東・名各市場第一部、札、福)
 代表者名 代表取締役社長 河田 正也

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 2 月 5 日に公表した平成 27 年 3 月期（通期）の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

● 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期 通期 連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 530,000	百万円 18,000	百万円 22,000	百万円 10,000	円 銭 57.26
今 回 修 正 予 想 (B)	525,000	14,000	20,500	13,500	79.19
増 減 額 (B - A)	△5,000	△4,000	△1,500	3,500	
増 減 率 (%)	△0.9%	△22.2%	△6.8%	35.0%	
(ご参考) 前期実績 平成 26 年 3 月期 通期	494,350	13,175	22,171	9,011	51.60

(業績修正の理由)

当期純利益は 135 億円 (35.0%増) となり、従来予想を大幅に上回る見込みとなりました。
 主な理由は、海外子会社の固定資産売却により特別利益を計上したこと、子会社 CHOYA ㈱の事業譲渡に伴う特別損失が予想を下回ったこと、更にエレクトロニクス事業の国内子会社やブレーキ事業の海外子会社において、収益性の改善に伴う繰延税金資産の計上により税負担が減少すること等によるものです。

なお、営業利益は、繊維事業の CHOYA ㈱事業譲渡に伴う損失、ブレーキ事業の欧州子会社 TMD の暖冬の影響による補修品買替の減少等により、従来予想を下回る見通しです。

また、経常利益は、円安に伴う為替差益の発生や受取配当金の増加等により、営業利益に比べ減少幅は縮小する見込みです。

(注) この資料に記載されている業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績はさまざまな要因の変動により予想数値と異なる可能性があります。

[問合せ先]

日清紡ホールディングス㈱ IR 広報グループ 牧尾・橋本

電話番号： 03-5695-8854